

ハッピー＆スマイル



しあさい便り



発行者

社会福祉法人楽寿会
特別養護老人ホーム

楽寿荘

四倉町上仁井田字横川67

TEL (0246)32-6381

子供神輿が登場すると、「わっしょい」と元気な掛け声に合わせ小さな子供達から「お金ちようだい」とお賽銭をねだる大きな掛け声があり、利用者に驚きと笑い声がおきます。「時代が違うねー」と日々に話しながらも、子供たちの元気な姿にお賽銭をあげる姿には笑みがこぼれています。

元気な福獅子も登場し、震災の影響で昨年はなかった御神輿を心待ちにしていました。利用者の健康を祈って、一人ひとり大きな口で頭をぱくりぱくりとさんでもらいました。(福獅子に頭を噛んでもらうと一年病気にならないと言われています)

5月4日(金) 楽寿荘に御神輿がやつてきました。



御神輿がやつて来社



「ありがとうございます」と答える子供たちにも明るい笑顔が見られました。
最後にお供物と玉串を捧げる儀式を行った後、また来年も待っています。



樂寿荘最高齢の107歳

娘さんと



青空昼食会

5月24日(木) 前日の雨も乾く晴天に恵まれた初夏の陽気の中、今年も青空昼食会が行われました。天気がいい事もあって利用者と職員で1階と2階対抗の玉送り、食前体操のズンドコ体操を行った後、利用者が汁物の具材切りを手伝つて準備していただき、汁物を完成させました。お弁当はウニご飯、海老フライ、厚焼き卵、ジャガイモのそぼろあんかけ、アスパラガスのごまドレッシング、イチゴが入つており、とても色鮮やかでした。利用者のご家族もたくさん来ていただき賑やかな昼食会になり、いつもと違う外での食事に、利用者もご家族も楽しいひと時を過ごすことができました。

中棟食堂は、憩いの場として利用者が集まり、お話をしたり、レクリエーションやお茶を飲んだりと思い思いに穏やかな時間を過ごされております。

6月より、新人スタッフ2名が加わり、先輩のアドバイスを受けながら勉強中です。

これからも利用者の気持ちに寄り添い穏やかな生活が送れるよう私達スタッフが、お手伝いさせて頂きたいと思っております。

ソーダカラーメンゼー

中棟 仲野千代美

春の訪オ お花見



4月16日（月）新緑の伊吹が漂う石森山に利用者が集い“お花見”が行われました。サクラはまだ蕾でしたが、広々とした園庭のパンジーや温室の色鮮やかなブーゲンビリヤ、掌ほどもある椿の花に「きれいだね」と驚いたり、感心したりしながら散歩を楽しみました。散歩の後は、待ちに待った“お花見弁当”、交流館をお借りして、利用者と職員一緒に会話を楽しみながら舌鼓を打ちました。食後は「何で読むの？」のクイズに挑戦し、しつかり頭の体操も行い、帰路につきました。



美味しいお花見弁当



みんなで体操

今回の“お花見”では、震災の状況も利用者に知っていたただこうと、バスは往復違う路線を走り、震災前とは様子の変わつたふるさとの一面を垣間見る機会も設けました。



以前から各棟で昼食前に行っていたズンドコ体操（氷川きよしの「きよしのズンドコ節」の歌に合わせて踊る体操）のDVDを各棟毎に作成しています。いつも見慣れたスタッフがテレビの大画面に映る姿に利用者も大喜びです。耳と目からの情報で身体を動かす。

五感を使って毎日楽しく体操しています。

体操DVD作成中

三宝保育園の園児の皆さん

ありがとう！



6月14日三宝保育園ぼたん組（年長児）
の子供たちが遊びに来てくれました。
手遊びや歌の披露のあと、むすんでひら
いてを利用者と一緒にしました。
子供達のかわいい姿に「めんこいな～」
との声が聞かれました。「いつまでもお元気
で」とメッセージをいただき、利用者一人
ひとりと握手をしました。



いつまでもお元気でのメッセージで涙ぐむ利用者も



つないだ手を離さず「またきてね。元気で
ね。」「ありがとね。」と涙ぐむ利用者もおりま
した。
またかわいい笑顔を見せに来て下さいね。

高齢者施設などでは、年二回以上の避難訓練が義務づけられており、樂寿荘でも春と秋に防火管理者を中心に実施しております。

最近では、地震、津波を想定した訓練を実施していたことにより、昨年3月11日の東日本大震災においては利用者、職員共に一人の負傷者を出すことなくスマートに安全な場所に避難することができました。これも日頃の訓練と職員間のチームワークがなければ絶対になし得ないことです。

今年度の第一回目の避難訓練は、火災発生時の手順を再確認する事をテーマに5月30日に実施致しました。実施終了後、反省すべき点がいくつかあり、これを基に次回の訓練に生かして行きたいと思います。また、災害時はパニック状態となり、マニュアル通りにならない事を想定し利用者の安全を第一に考え全員無事に避難できるよう体で覚える訓練実施をしていきたいと思います。

避難訓練について

防火管理者 高木清一

リニューアルしました！

長年、地域のコミュニティーの場として、又、研修の場を提供してきた「いこいの家」が昨年の大震災による地盤沈下で建物が傾いてしまいました。倒壊の恐れもあり、解体の話もありましたが、地域交流及び研修の場として復旧出来ることがわかり、社会福祉法人施設等災害復旧費補助金の援助を受け、リニューアルいたしました。

これからも今まで以上に地域交流の場、研修の場、且つ利用者家族等の宿泊の場として、役割を果たしていきたいと思います。

又、約30年間休まず、フル稼働していた洗濯機も震災の為、稼動不能となり、前述した補助金により、設備面、機能面も新しくしました。これからはより効率的にスピード化を図っていき、利用者の方々へのサービスを提供していきたいと思っています。



新しくなった洗濯機・乾燥機



使いやすくなった洗濯室



資格取得看護師による講習・実技を行っています



研修を行っています

介護職員等による痰の吸引等の制度化の実施にあたり、研修を行っています。
吸引や経管栄養の技術はもちろん、特別養護老人ホームにおける医療ケア、人体のしくみ、安全管理など、内容は多岐にわたります。

利用者が、より安全に安心した生活ができるよう日々勉強しています。



大人数での交流・研修などで使用できる大広間



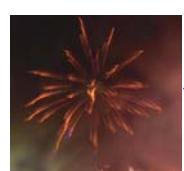
介助を必要とする人でも使用できるよう大きなトイレ



ゆっくりくつろいでもらう為
青森ヒバの香る浴室

恒例の楽寿荘夏祭りの時期が近づいてきました。

今年は8月25日(土)開催を予定しています。たくさんのお店とさまざまな催しで、ご家族皆様のお越しをお待ちしております。



お知らせ

連絡先

特別養護老人ホーム 楽寿荘
樂寿荘短期入所生活介護事業所

TEL(0246)32-6381
(代表) 24時間対応

樂寿荘通所介護事業所 TEL(0246)32-6383
樂寿荘居宅介護支援事業所 TEL(0246)32-6387
樂寿荘訪問介護事業所 TEL(0246)32-6388
よつくら訪問看護ステーション

TEL(0246)66-0855

担当